

論理コミュニケーション事業について

これからの社会で求められる力とは？

これからの社会では、インターネットや生成AIの普及により、多くの情報の中から必要な情報を選び、正しく判断する力がますます重要になります。

また、多様な考え方をもつ人々と協働しながら課題を解決していくためには、自分の考えを、根拠とともに道筋を立てて伝える力が求められます。

オンラインで広がる学び「論理コミュニケーション」

高岡市では、慶應義塾大学SFC研究所との連携のもと、市内すべての中学校2年生及び義務教育学校8年生を対象に、年間12回の「論理コミュニケーション」遠隔授業を実施しています。講師による専門的な指導を、オンラインによる遠隔授業を通して学習を進め、生徒が自分の考えを整理し、根拠を示して分かりやすく伝える力の育成に取り組んでいます。

「論理コミュニケーション」×「探究的な学び」



★ 学習で大切にしている力

- ✓ 複数の考えを比較しながら検討する力
- ✓ 根拠を明確にする力
- ✓ 具体例を使って説明する力
- ✓ 自分の考えを一つの主張としてまとめる力

「探究的な学び」の基盤として

「論理コミュニケーション」を通して身に付く力は、高岡市が進める「探究的な学び」の基盤となるものです。自ら課題を見付け、情報を集め、考えを深めながら答えを導き出す学習や、地域の課題について考える学習などで大いに生かせることが期待できます。

